浦和大里小学校だより

３月号　令和６年３月１日発行

教育目標
夢と希望をもち、
人間性豊かで
心身ともに
たくましい子の育成

１年生のころ使った教科書を見ながら成長を確かめる６年生

次につなげるための振り返り

校長　中野 緑

弥生の温かい日差しが、春の到来を感じさせます。白梅、紅梅に続いて、浦和大里小学校の花々も開花の準備を整え、今か今かと順番を待っているように見えます。

３月１日（金）、今日は「６年生を送る会」。この日のために、１～５年生が少しずつかかわって、在校生全員で卒業生一人ひとりへのプレゼントであるメダルを完成させました。６年生は「６年生と握手をしよう」「６年生に勉強を教えてもらおう」など、下級生と個で関われるビンゴカードをつくり、「みんなで最後の交流を深めよう」という思いを込めた企画を立ち上げました。別れを惜しみ合う姿が胸にしみます。

「さようなら」は、新たなスタートでもあります。わたしは、まっさらな気持ちで、よいスタートをきるのに、「お片付け」が重要な役割を果たすと思っています。片付けるという作業には、自分が頑張ってきたことの確認が伴います。時には、いえ、私の場合かなりの確率で、さぼってしまった自分にも出会います。子どもの頃は、１年間使った教科書やノートを、段ボールにしまいながら、「この授業楽しかったな。」「随分雑な字。気もそぞろだな。」などと振り返ったものです。時折、母が顔を出しパラパラとノートをめくり、「もうこんな難しいことを勉強してるんだ。」など驚いてくれるのが嬉しかったことを覚えています。その後、ランドセルや筆箱をきれいに拭いて、新しい鉛筆を削って筆箱に収める頃には、「この空いたスペースを、楽しいこと・がんばったことでいっぱいにしよう」と新たな１年が楽しみになっている自分を見付けることができます。

うまくいったこと、いかなかったことの振り返りの一つが学校評価です。２学期に実施しました学校評価の結果を、本日学校だより特集号としてお配りいたしました。学校評価は、教育の質の向上と改善を図り、子どもたちがよりよい学校生活を送るためのものです。今年度はこれまでの一家庭一回答から、児童ごとの回答に変更しました。これにより一人ひとりの子どもの様子をもとに、きめ細かく教育活動について振り返ることができました。

今回の結果につきましては、学校運営協議会において、保護者の皆さまからの率直なご意見も含め明らかにし、成果や課題をもとに次年度の方向性を検討しました。いただいたご意見を踏まえ、子どものよさを認め伸ばす指導を土台とし、新しいことに挑戦したり、粘り強く取り組んだりするたくましさを育んでいきます。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も様々な面でご理解・ご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

◆学校ホームページ内において子どもたちの日常を発信しています。「学校生活」をぜひご覧ください。◆